

## 令和2年度上半期 国際委員会活動報告

### (1) 第61回学術集会日韓ジョイントシンポジウム

今年度の学会における日韓ジョイントシンポジウムのテーマは神経芽腫である。

日本側の演者として、

京都府立医大 家原知子先生、大阪市立総合医療センター 米田光宏先生

韓国側の演者として、

Samsung Medical Center Dr. Kiwoong Sung

Seoul National University College of Medicine Dr. Hyun-Young Kim

が

それぞれ選出され、学会3日目11/16午前中に開催される。

### (2) 韓国小児血液がん学会(KSPHO)からの演者推薦依頼

KSPHOから本学会あてに、2019年10月25日にソウルで開催されるKSPHO学術集会のJSPHO/KSPHO joint symposiumの演者推薦の依頼が来た。今回のテーマはリンパ腫とのことで、JCCGリンパ腫委員会と協議の上、下記2名を本学会として推薦し、講演が行われた。

聖マリアンナ医科大学森鉄也先生：日本における新規治療薬の開発について、

国立名古屋医療センター関水匡大先生：日本におけるリンパ腫臨床試験のオーバービュー

### (3) WHO小児がんProject

WHOが2018年からの取り組みとしてWGlobal Initiative for Childhood Cancerのprojectを立ち上げた。目標達成に向けて、日本小児血液・がん学会(JSPHO)としても日本小児がん研究グループ(JCCG)および国立国際医療センター(NCGM)との連携のもと、協力していく方針が確認された。今後具体的な行動に向けてWG等を組織していく方針である。

以上

(文責：康 勝好)